



ひらま通信 Vol.26

討議資料

発行責任者：ひらま良明後援会
浜松市中区葵東1-13-1 TEL 053-436-4411

後援会会長：小久保 友博
発行：平成 28年 12月 14日

交通事故件数ワースト1からの脱却を！平成28年第4回浜松市議会定例会報告

日頃のご支援に感謝を申し上げます。年を追うごとに1年の月日が早くなると感じている今日此の頃です。

さて、12月13日に閉幕した第4回定例会では所属会派を代表して質問を行いました。政令指定都市の中で、浜松市は人口10万人あたりの人身交通事故件数が7年連続でワースト1となる不名誉な記録の更新を受け、「交通事故件数ワースト1からの脱却に向けた取り組みについて」鈴木市長を始め、関係部長に伺いました。その他、平成29年3月に完成予定の遠州鉄道上島駅のミニバスターミナルを活用した「環状バス路線の形成と放射道路の渋滞対策について」など、大きく5項目の質問を行いました。



所属会派「市民クラブ」を代表して質問

補正予算では、平成29年1月8日から1年間に渡るNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」放映に伴う観光客受入のための経費などを追加しました。また、国に対して「安全・環境規制に対応した二輪車の普及促進を求める意見書」など7件の意見書を提出しました。浜松市議会議員 平間 良明

11月補正予算の主要事業より

●直虎プロジェクト推進事業

・大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放映に伴う観光客受入体制の整備として、大河ドラマ館への臨時シャトルバス運行や館山寺温泉と気賀港間の舟運の実施、仮設トイレを設置します。※今回の追加補正により浜松市の大河ドラマ関連事業の全体経費は総額13億7529万円となりました。

●JICA草の根技術協力事業(政府開発援助(ODA))

・平成31年度迄3年間、浜松市の上下水道部職員がインドネシア共和国バンドン市において漏水防止対策の技術支援を実施します。地元企業との官民連携を図りながら、浜松市の水道技術でバンドン市の水環境を改善します。※バンドン市と浜松市は文化・環境分野などの協力関係の構築について覚書を締結しています。

安全・環境規制に対応した二輪車の普及促進を求める意見書を国へ提出しました

- 1 排ガス基準の引き上げやABS・CBSの装備義務化など、最新の安全・環境規制に対応した二輪車の普及を促進する制度を創設すること。
- 2 自動車取得税廃止に伴う代替財源を二輪車保有者に求めないことや、二輪車の高速道路料金区分の独立と料金の適正化により、二輪車の保有及び走行に係る負担の見直しを図ること。
- 3 二輪車駐車場のさらなる設置など、利便性が向上するための環境整備を促進するために、二輪車駐車場の整備に対する助成をすること。

平成28年11月30日 浜松市議会 衆議院議長様 参議院議長様 内閣総理大臣様 総務大臣様 財務大臣様 経済産業大臣様 国土交通大臣様



浜松市議会議員
「ひらま良明」の活動を
インターネットで
ご確認ください！



学校でのいじめに悩んだら、心配な友達がいたら、ここに電話してください。24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310(なやみいおう)

～第4回定例会代表質問より～「交通事故件数ワースト1からの脱却に向けて」

最近、高齢運転者による運転ミスや、スマートホン操作による事故などが連日報道されていますが、いつ自分や家族が巻き込まれるかわかりませんし、加害者になる可能性もあります。本市では「[抜け出そう市民総出で『ワースト1』](#)」を合言葉に平成29年までに人身交通事故件数を6240件以下に削減することを目標に様々な施策に取り組みましたがワースト1脱出に至りませんでした。事故は他都市でも減少しており、他都市を上回る交通事故対策をしなければワースト1脱出は難しいと訴えました。

「高齢運転者の加害事故対策について」

質問 全国で高齢運転者による加害事故が連日報道されているが、今後も高齢運転者は増える見通しであり、その対策が急務である。国は平成29年3月より75歳以上のドライバーに対する認知機能検査の強化などを実施する予定であり、3年に1度の更新時検査の他、違反時にも検査が課される。免許証の自主返納は、車を生活の足として欠かせない本市では中々進まないと考える。免許返納証明書の提示で静岡県や浜松市のタクシー協会では料金1割引きサービスを、遠州鉄道では電車・バスが乗り放題の定期券「シルバーワイドフリー定期券」を発行するなど優遇サービスを実施している。[香川県では高齢者が先進安全自動車購入時に3万円の助成](#)など、高齢運転者の加害事故対策に取り組んでいる。そこで、本市の取り組みを伺う。

答弁 浜松市では全体の人身交通事故件数が減少傾向の中、高齢運転者が関係する事故は増加傾向にある。高齢運転者向けの広報啓発として、今年度から、交通安全協会などと連携し、交通安全教室などで運転適性検査器を体験してもらっている。自身の動作の衰えなどを客観的に理解でき、運転免許証の返納を考える契機となっている。初年度は約20回予定しており、今後、一層拡充していく。また、天候や時間帯、体調に応じて、無理のない範囲で運転を自粛するよう呼び掛けも行っている。国においては喫緊の課題と位置付けて関係閣僚会議が立ち上がった。今後も、国の動向などを注視すると共に、本市の関係各課と協力しながら広報啓発を強化していく。

意見提言 運転適性検査器は私も体験したが、10分程度で自分の運転傾向についての的確に分析された。より多くの市民に体験してもらうことにより気づきを得て欲しい。また、免許返納者への優遇サービスや、公共交通機関の整備、高齢者の操作ミスをサポートする先進安全自動車の普及促進策などを検討して欲しい。 ※その他の質問内容については[市民クラブホームページ](#)をご参照ください。

市民クラブとして平成29年度の市政運営に対する政策提言を行いました

市民クラブは、ものづくりのまち浜松の地域経済や社会を根底から支えている勤労者の声・意見・要望・提言を具体的な施策や予算に反映していきたいと考えています。財政規律の維持と市民サービスの向上は決して二律背反ではありません。市民の納める税金が無駄なく効率的に使われ、安全・安心できる生活づくりの施策が更に充実されるよう、来年度予算編成に向けて提言しました。

政策提言の内容につきましては、[「浜松市議会市民クラブ」のホームページ](#)をご参照ください。



鈴木市長に政策提言書
を手渡す斉藤会長

写真で見る「ひらま良明」活動記録 10月～12月（一部抜粋）

10月 市民文教委員会行政視察



11月 代表質問に多くの方が議会傍聴に来てくださいました



12月 全本田労連静岡地協スポーツ交流会(キックベースボール)

